

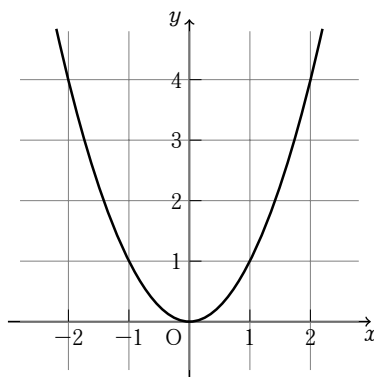
## 1 ベース

### 問題 1

$y = x^2$  の  $x$  と  $y$  の関係をもとにして、 $x$  と  $y$  の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 $x$  の値を 0.5 おきに増やしながら  $y$  との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数  $y = ax^2$  のグラフである。

関数  $y = ax^2$  のグラフには次のような特徴がある。



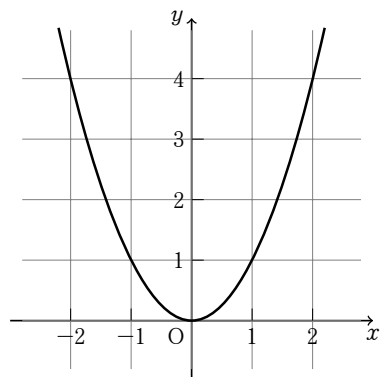
## 2 問題文の分量が少ない場合の例

### 問題 1

$y = x^2$  の  $x$  と  $y$  の関係をもとにして、 $x$  と  $y$  の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 $x$  の値を 0.5 おきに増やしながら  $y$  との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数  $y = ax^2$  のグラフである。

関数  $y = ax^2$  のグラフには次のような特徴がある。



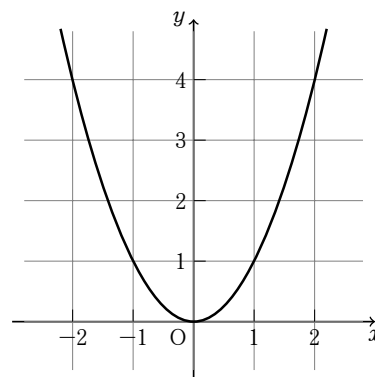
### 3 問題文の分量が多い場合の例

#### 問題 1

$y = x^2$  の  $x$  と  $y$  の関係をもとにして、 $x$  と  $y$  の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 $x$  の値を 0.5 おきに増やしながら  $y$  との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数  $y = ax^2$  のグラフである。

関数  $y = ax^2$  のグラフには次のような特徴がある。



問題文の分量が多い場合

$y = x^2$  の  $x$  と  $y$  の関係をもとにして、 $x$  と  $y$  の値の組を座標とする点を平面座標に書き入れる。さらに、 $x$  の値を 0.5 おきに増やしながら  $y$  との値の組を座標とする点や、0.1 おきに増やした場合の座標も書き入れていくと、右図のような滑らかな曲線になっていくことが予想される。

この曲線が関数  $y = ax^2$  のグラフである。

関数  $y = ax^2$  のグラフには次のような特徴がある。

### 4 使用例

#### 問題 1

具体的な使用例

ここに問題文を書いてください

図は適当に弄ったので無意味です

